

令和4年度第2回図書館協議会（議事録要旨）

日時 令和5年3月15日(水) 午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席 委員（9名） 山田、柴田、橋本、近藤、野々山、柴田（初）、杉原、
鈴木、石垣
事務局（3名）

議題

（1）図書館の基本方針について

資料1「図書館の基本方針」に基づき説明。

（2）令和5年度図書館事業計画（案）について

資料2「令和5年度図書館事業計画(案)」に基づき説明。

（3）その他

- ・外壁工事、トイレ工事について
- ・南部公民館が5月15日(月)より工事のため休館、図書室も休室
- ・栄小学校プール跡地の利用について

質疑応答等

（1）図書館の基本方針について 資料1

委員：南部公民館図書室資料費380万円の内容は？

事務局：通勤通学者の利用が見込まれるため、通勤者向けに読みやすい文庫本、通学
の中高校生向けにマンガ本、他に実用書等を中心に揃えていく予定。

委員：工事が延期になる等時期がわからないにもかかわらず380万円の予算がつ
いているが、あらかじめ買って、ストックしておくということか。

事務局：事前に購入し、ストックしておく。

委員：前後駅は名鉄電車の1日の乗降客も多く、南部公民館図書室は本館と違う背
景を重要視して本を選書する。文庫本はとても良い着眼点だと思う。よく考
え有意義に皆が望む本を買うことが、税金の有意義な活用だと思う。

（2）令和5年度事業計画(案)について 資料2

委員：ビブリオバトルの5分間で本を紹介する手法は自分達も経験がない。本の発
表等、端的にまとめて人前で発表する機会も少ない。こういった機会を設け
ることで、本に対する子ども達の興味にも繋がると思う。

事務局：ビブリオバトルは好評だったため止めるのではなく、ビブリオバトルに向け
新たに構築し直すという形を考えている。その1歩として「はじめての読書
会」、皆で本を読んで感想を言い合うという新しい行事を行う予定。回数を
重ね、大勢の前でも発表できるようにする。

委員：系統立てて構築していくことは大事。良いことは参加者が少なくても続けて
いくことが「読書のまち豊明」と結びつき、形になっていくのでは。1冊の
本や絵本、映画会など心に響くような良い体験を通し、新しい情報を得たい

と興味関心をもつ子どもが足を向ける創意工夫のある図書館であってほしい。

委員：「はじめての読書会」の対象年齢は中学生以上か。

事務局：来年度事業になるので確定していない。

委員：小学生向けに絵本を読み、内容を伝えるような取り組みがあっても良いと思う。

事務局：本に関わる子ども向けの取り組みを考えていけたらと思う。

委員：アメリカ在住時、小学校でもビブリオバトルを行っていた。図書館が各学年に指定した本を読んでもらい、チームで登録、職員がクイズを出題する。クイズの簡単な問題を、トーナメント方式で、一番正解率が高かったチームが優勝という形で行われていた。小学生は人前で発表する前に発言することから始め、クイズ形式で3、4単語位の答えを言う。中学生は文章で、もう少し上の人は感想を言う等、段階を踏む内容を計画していくと良いと思う。

委員：「夏休み図書館員」は小学校高学年対象に行っているが、友達と一緒に低・中・高学年と分けると楽しいのでは。

委員：10年以上読み聞かせをしていて、去年と今年は高齢者の読み聞かせをしたが来る人が少なかった。喜んでもらえるよう趣向を凝らしても、子ども一人だけの参加とか、がっかりすることもある。毎年読み聞かせボランティア育成のために講師を招き講習会を行い、読み聞かせをしたい人は数人ずついるが活動する場所がない。おはなし会をやっても、人が集まらず意欲が発揮できるところがない。集客のために広報掲載や「わくわく!!おはなし会」はチラシを作成し保育園等に配るが、子ども達だけで来ることは難しい。これは図書館だけの問題ではなく、巡回バス等何かそういうことをしないと集客できない。こちらで多様な楽しい企画をしても、来客が少ないと尻切れトンボになってしまい、意欲のある人が多いのもったいないと思う。

委員：海外に子ども達と住んでいた頃、スウェーデンでは公民館が1日中開いており、必ず誰かいて誰でも利用できる。そういう所が多く、何か催し物がある時は小さい単位で行うため、周辺の人が行きやすい。日本は大きな所で行うが、公民館等の小さい施設を上手に使い歩いで行けると思う。図書館も読み聞かせ等開催しているのもったいないと思う。

委員：近隣では公民館がいつも開いていて、子ども達も出入り自由な所がある。豊明市もそういう所があればと思うがなかなか難しい。

委員：学校現場も、以前は市を上げて読書活動を推進しようと読み聞かせボランティアの人達も巻き込んだ時期もあった。その時の学校現場では、ビブリオバトル以外にも小学生向けにアニメーションという手法を取り入れた。本を読み、読んだ本についてクイズ形式で子ども達が答える等をしていた。年齢の低い子ども達はその手法にすれば読書の中に入り込んでいけると思う。子ども達に読書の楽しみを教えていくには学校だけではなく、やはり地域の支援が必要。その核が図書館でありたいと思う。

図書館事業計画(案)の1年間事業のウ. 読書奨励事業の読書手帳について、今アプリで読書履歴を残せるものがあるが、読書手帳はどんな活用をしてい

るのか。今後、自分の読書履歴等が出る機能が追加される予定があるか。

事務局：読書手帳は子どもが自分で何を読んだか書き、1冊埋まったら粗品と交換できる。パソコンで「希望する」を選ぶと読んだ本が記録として残る。並び替えは、年度や貸出日順、本の題名順ができる。

委員：スマホ時代だからこそ、絵本の魅力を発信することが大事な役割と思う。保育園は言葉を覚えていく年代で、絵本を通してコミュニケーション力と言葉を獲得していく。日本語の大事な部分は保育園や図書館の役割が大きいと思う。以前は移動図書館があった。地域の人が図書館に来られないなら地域へ出かけて行ったり、近くの人達が借りたりとかできたら良いと思う。

事務局：現在移動図書館はなく、高齢者やなかなか来られない人達について、地域の人達に本をどう届けるかを図書館として今後考えていかなければいけない問題だと思う。

委員：以前の移動図書館が1番と考える。他は子ども達の移動が難しいと思う。中学生以上は自力でどこでも行けるので、今回計画されているもので良いと思う。小学生は学校図書館があり、年間2～300冊程読んでいる子がたくさんいて、わざわざ図書館に行くのかと言われると難しいと思う。市全体として考えるなら、移動図書館は移動困難な人達にとって良いと思う。

委員：移動図書館は以前も話題になったが、なかなか形にならなくて残念。長い時間かかると思うが、何か形にできると良いと思う。子ども達は本や絵本が大好きなので、地域の細かい所まで本が行きわたると良いと思う。

委員：移動図書館、良いと思う。公民館が活用されていない話が出たが、なんとか公民館と提携し、そこで移動図書館をするのはどうか。例えば以前図書館勤務していた人に、移動図書館先でボランティアをしてもらう。絵本や紙芝居の読み聞かせ、図書館の紹介を子ども達に向け説明する等、やりたいという人は多いと思う。公民館もあまり活用されておらず、市の資源としてもっていないと思う。市と図書館と地域で提携して、実現していくことを具体案として入れてほしいと思う。難しいと思うが考えてもらえればと希望する。

委員：例えば、年1回阿野老人会で高齢者向けおはなし会をする時に、隣の所で本の貸出とおはなし会を掛け合わせればちょっとしたイベントになり、定着すれば本を読む機会もおはなしを聞ける機会も増えると思う。

委員：アメリカのエール大学の調査で、読書習慣がある人は寿命が2年位長いという発表があり、高齢者は時間がたっぷりあるので、生涯学習の一環としてうまく利用できると思う。

委員：同じ市の施設なので、うまく関連させてできる気もする。人の部分はボランティアで、シニアの方でやってもらえる人もたくさんいる気がする。

(3)その他

・外壁工事、トイレ工事について

事務局：令和5年度図書館は外壁工事・トイレ工事を行う予定。期間は、外壁工事が6月下旬から10月末、トイレ工事が11月下旬から2月下旬を予定。外壁工事中、駐車台数が24台になる。トイレ工事は仮設トイレを設置予定のため

め、駐車台数が16台になり、平日は駐車台数が少ない状態になる。

・南部公民館が5月15日(月)より工事のため休館、図書室も休室

事務局：南部公民館のリニューアル工事を令和5年度に改めて行う予定。日程は5月15日(月)からだいたい10月末を予定。まだ詳細は決まっていない。

・栄小学校プール跡地の利用について

事務局：現在市内小学校はプールを利用しておらず、プールを取り壊し順次再利用する予定。栄小学校のプール跡地は駐車場、プール横2階建ての建物を改造し、2階を児童クラブ、1階を児童用図書室の案があるが、決定してはいない。

委員：1階は児童用図書室だが、こちらの要望が通る可能性はあるか。

事務局：通るかどうかはその内容によると思う。

委員：子ども達がゆっくり座れて親子で読むとか、例えば読み聞かせを毎日ではなく週1回でもあると、そこに行って遊ぼうという子ども達も増え、また貸出もできれば移動図書館の代替えになると思う。図書館協議会の中から意見が出たこと、南部地域にほしいという要望をお願いする。

委員：図書館のどの場所で読み聞かせをするのか。今は2階視聴覚室でやっているが小さい子を連れて階段は大変。当初は1階でやりたいと要望を出していたが、一般利用者がいるので防音等の設備がない1階では無理だと言われ、展示室を使いたいと言っても何かの理由でダメだと言われる。2階は遠いので少ない参加者がさらに遠のいてしまう。読み聞かせができる施設・設備があると良いと思う。

委員：いくつになっても読んでもらえるのは、子ども達も大人も嬉しいこと。場所があるなら、コロナも終息の兆しがみえてきて今までのようなことはなくなってくるので、展示室で活動できれば一番良い。子ども達もすぐに来られる。南部も触れあえる場所をお願いしたい。

委員：展示室でなぜ読み聞かせができないのか。児童室のおはなしのへやは、読み手としてあまり声を出してはいけないとかすごく気を遣う。展示室で読み聞かせが可能であれば、静かに本を読みたい他の人の迷惑にならず、みんなが自由に楽しんでもらえる場所になると思う。

委員：展示は文化会館でもできるので、展示室は読み聞かせ等の子ども達が入れる部屋になれば良いと思う。

委員：子ども達の図書館のイメージは、本があって楽しいイメージより、静かにしなければいけない少し苦しいイメージ。少し息が抜ける、飲食等できる場所があると、図書館自体長時間居られる場所になる。親も子どもを送迎して、2～3時間ここで遊べる、そんな感じになったら良いと思う。

委員：この前おはなしのへやでやっていた時、お母さん達がずっと「静かにして」と子ども達に言っていた。「図書館は楽しい所だよ。」「本はすごく楽しいよ。」と、子どもに伝えたいとお母さん達が思っても、図書館にそういう雰囲気なくて、静かにと人に気遣わないといけない等、子どもと一緒にいこうという気になりづらい。かなり勇気があるストレスのかかる場所。もう少し気軽に「図書館は楽しいよ。」という雰囲気の場所作りが課題になってくると思う。

事務局：新しい賑やかな何をしていても良い図書館は増えている。ただここでする場

合、図書館は静かな場所だと思っている人の意識改革がまず必要。そばで賑やかにしても笑って許せるような雰囲気作り、それとは逆に図書館で静かに本を読みたい人の権利も守らないといけない。静かに読書できる場所をどこに作るのかという話も出てくると、建て替える話になる。今ある中で両方の実現は難しく、折り合いをつけながらやっているのが現状。

展示室の利用、本の貸出等図書館はいろんな情報発信の場であり、芸術・文化等に接する場の一つ。そういう場を無くしてもいいのかという話もある。今展示している人達は毎年展示をしており、止める場合は合理的に説明できるのか考えることも必要かと思う。展示している人達の中には図書館の自主展示に協力している団体もあるため、「図書館は使えない」は難しい。展示室を子ども達の読み聞かせの場にするには、その人達がどこで展示できるか代案を考える必要があり、すぐに回答はできない。

委員：図書館は1980年に開館して43年目。当初は豊明市に文化会館がなく、展示希望者も多く、図書館独自の展示をするためにも展示室は必要だった。児童室と一般室が一緒のワンフロアの図書館は当時としては斬新だった。児童室の一角には母子ふれあいコーナーとして読み聞かせや紙芝居ができるよう「おはなしのへや」を作ったが、利用者が多くなるにつれ声が漏れてうるさいとの苦情が寄せられ、アクリル板の囲いを設置し、少し大きな声で読み聞かせしても大丈夫かなという感じで今に至っていると思う。展示室の利用は、展示との兼ね合いが難しいと思う。

委員：図書館の展示室は無料で、文化会館の展示スペースは有料。現在は展示物が壁周りに貼ってあることが多い。それなら2階廊下とか違う場所で展示も可能では。立体物やガラスケースの利用を最近見かけない。出展者は無料なので続けたい部分があると思うが、活用方法を考える時期にきていると思う。

委員：文化会館がなく市内に展示場所がなかったというのはよくわかるが、文化会館ができたなら、長年展示している人に移動してもらうことも1つの方法。

委員：絵本を親子で読むとか読み聞かせをするとかの場所がなく、居場所がない子ども達もたくさんいる。時代が変わればいろいろ変わるのと同時に、変わっていかねばいけないと思う。

委員：壁面だけ展示をして、同時におはなし会も可能かと思う。

委員：壁しか使っていないなら中央を利用できないか。子どもがいたずらすると思っているかもしれないが、子どもだけでなく大人もいる。

委員：入り口から近い場所はとても魅力的。

委員：展示室活用などいろいろ協議会でも意見をまとめ、図書館から市へ要望できれば一番良いと思う。

委員長：以上で議題はすべて終了した。

事務局：お知らせあり。児童室の絵本の棚の並び変えをして雰囲気が変わった。新書の棚も十進分類順に全部並べ変えた。